



こんな方に
おすすめしています

- ✓ 生理痛が重くなったと感じる
- ✓ 出産歴がない、または少ない
- ✓ 喫煙している、喫煙していた
- ✓ 周りに喫煙者がいる
- ✓ 子宮内膜症になった

30代・40代・50代で罹患率が急増 自覚症状が出てからでは遅い 卵巣がん

30代から罹患率が急増する卵巣がん。卵巣がんは骨盤の奥にある臓器な為、早期発見が難しく、自覚症状がないまま進行してしまい、手遅れになるケースが多くあります。miSignal™は卵巣がんの早期発見を行える新しい尿検査です。



東京海上日動あんしん生命

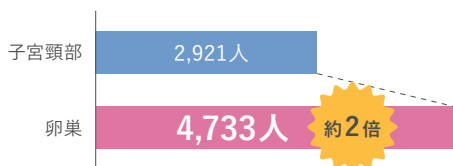
miSignal™は東京海上日動あんしん生命保険加入者様の付帯サービスとしてもご利用頂いております。

知っていましたか?

予後の悪い卵巣がん、
実は、通常健康診断ではカバーされていません。

死亡者数は
子宮頸がんの約2倍

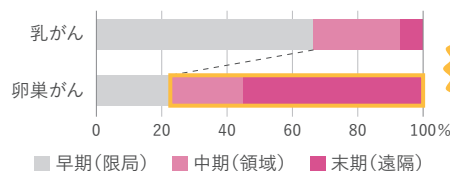
実は、卵巣がんは乳がんや子宮頸部、子宮体部がんと比べて、予後が悪く、早期発見が大切ながんだと言われています。



部位別がん死亡数¹⁾ [2019年]

手遅れになってから
発見されることが多いがんです

卵巣がんは、早期発見が大切にも関わらず、検査の受診率が低いこと等から手遅れになってから見つかることが多いです。



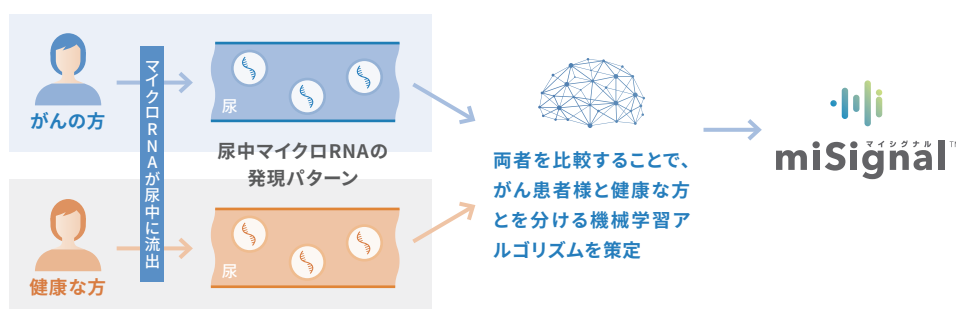
病気が
進んでから
見つかる
割合が高い

がん診断された時の進行具合²⁾

miSignal™(マイシグナル)で卵巣がん検査を始めましょう

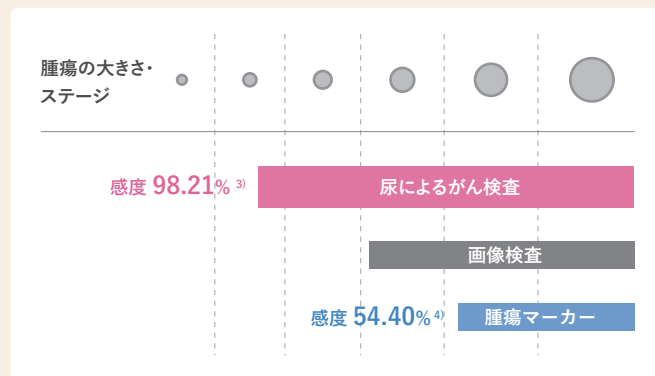
miSignal™(マイシグナル)とは?

miSignal™は、尿中のマイクロRNAを抽出し、患者様のがんリスクを調べる検査です。マイクロRNAとは、細胞間のコミュニケーションを担う伝達物質の一つです。がん細胞などでは、特定のマイクロRNAの増減がみられることが分かっています。miSignal™では独自技術を用いて様々なマイクロRNAの発現パターンの情報を収集し、AI(人工知能)解析を行うことで、がんリスクの判定が可能となりました。



尿を用いた卵巣がん検査は、 感度の高い検査手段として 業界でも注目を集めています

今までは、適切な早期発見の手段がないとされていた卵巣がん検査。miSignal™ 独自開発の技術を用いることで、ステージIの卵巣がんでも早期発見可能な高精度な尿検査の開発に取り組んでいます。



よくあるご質問

Q 検査に食事の制限などはありますか？

採尿前日の過度な飲酒を避けて下さい。それ以外は特に制限はありません。

Q 検査は一度だけ受ければ良いの？

いいえ。採尿した時点のがんリスクを判定している検査となりますので、年に一度程度、検診に併せてのご受診をお勧めします。

Q 当日での申し込みもできますか？

はい、検診当日でのお申し込みも可能です。

Q 検査結果が悪かった場合は？

がんリスク「高」または「中」となった場合は、お近くの医療機関にて追加の検査を受けて頂きます。詳しくは、結果表と共にご案内させていただきます。

Q 検査を受けられない人はいますか？

女性の場合、生理・妊娠が本検査に与える影響は明らかになっていません。該当する方の検査結果は、あくまで参考値となります。

尿を採るだけ！ 簡単3ステップの検査フロー

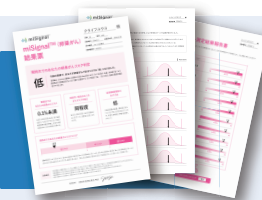
1 検査
申込



2 採尿、
提出



3 検査結果を
ご郵送



検査費用

33,000円
(税込)

検査の
お申込は
こちらから

CSクリニック

TEL

06-6448-3653

大阪府大阪市西京町堀1-8-5 明星ビル1F

本検査に関するお問合せ

Craif カスタマーサポート

TEL 070-3149-6278

10:00-16:00(土・日・祝日、年末年始除く)

◎本検査は、がんの人と健康な人の尿に含まれる miRNA (以下、マイクロ RNA) の違いを利用することで、検査時点で受検者ががん罹患しているリスクを調べる「スクリーニング検査」です。

◎本検査は、医療行為として、がん罹患しているかどうかの「診断」に代わるものではなく、また確定的な診断を行うものではありません。

◎検査の結果、「高リスク」と判定された場合でも、直ちにがんと診断されるものではありません。

◎検査結果として示されるがん疾患リスクが低い場合でも、がん罹患していないことを保証するものではありません。

◎女性の場合、生理・妊娠が本検査に与える影響は明らかになっていません。該当する方の結果は、あくまで参考値となります。

◎尿に含まれている成分や、測定中のトラブルなどで再検査・もしくは検査不能になることがあります。

1) 国立研究開発法人国立がん研究センター. 「がん種別統計情報」. がん情報サービス. 2021年. https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/cancer/19_ovary.html. (参照 2022-1-17).

2) Siegel, RL, Miller, KD, Fuchs, HE, Jemal, A. Cancer statistics, 2022. CA Cancer J Clin. 2022. <https://doi.org/10.3322/caac.21708>

3) S. Tate, K. Nishikimi, A. Matsuoka, S. Otsuka, K. Takayama, Y. Chen, H. Yamaguchi, T. Yasui, Y. Ichikawa, M. Shozu, Urinary MicroRNAs as Biomarkers for Early Detection of Ovarian Cancer. ESMO. 2021 Sep. Paris, France.

4) Grandi G, Perrone AM, Toss A, Vitagliano A, Friso S, Facchinetti F, Cortesi L, Cascinu S, De Iaco P. The generally low sensitivity of CA 125 for FIGO stage I ovarian cancer diagnosis increases for endometrioid histotype.

Minerva Med. 2020 Apr;111(2):133-140. doi: 10.23736/S0026-4806.20.06474-5. PMID: 32338842.